

## 尾根ハイキング：大山

- ◆日程 2015年11月21日(土)  
◆メンバー L：田村、須田、荒木、吉田、他1名

### 11月21日(土) 天候：晴れ

8:30に秦野駅のヤビツ峠行のバス乗り場に集合すると、見たこともないほどの長蛇の列だった。紅葉シーズン、天気は快晴、しかも3連休の初日だから混むだろうと予想はしていたが、これ程とは思わなかった。ディズニーランド並みの行列で、8:55発のバスに乗る予定だったが、30分遅れの9:25発のバスに乗車した。バスももちろん満員で、我々横浜山の会一行は運良く座ることができたが、このギュウギュウの状態でヤビツ峠までの1時間近くを立ったまま過ごすのはさぞきついだろうと思った。立っている乗客の中に、父親と息子(2~3歳くらい)の親子連れがいた。バス車内では父親の男性が男の子を肩車していたが、しばらくして男の子が突然大声で泣き始めた。乗客一同男の子がなぜ泣き始めたのかが分からず、窓を開けて新鮮な空気を入れたりして様子を見ていたが、しばらくして男の子が「お母さんに会いた〜い!」と叫び始めた。「そっか、お母さんに会いたくて泣いてたのか」と乗客一同ホッとして男の子を微笑ましく思う空気が流れたが、一生懸命息子を肩車しながらも「お母さんに会いたい」と叫ばれるなんて、父親って切ないなと感じた。この親子は「あの親子どうしたかね〜」と山行中たびたび話題になり、印象的だった。

無事ヤビツ峠に到着し、各自支度を整えた後出発。実はこの山行、当初は塔ノ岳の表尾根コースを予定していたが、体力的に不安だということで大山に変更になった。私は7月以来の山行だったので、もちろん体力に自信はなかったが「大山なら登ったこともあるし、大丈夫だろう」と楽観視していたが、予想以上にきつかった。息切れをしながら登っていて「塔ノ岳じゃなくて本当によかった」と何度も思った。また、全員が交代で先頭に立ちってみるという事もやってみて、私は先頭に立った経験がほとんど無いので、それだけで緊張して自分がどれくらいのペースで歩いているのか分からなくなった。「ゆっくり歩こう」と心がけていても早すぎてしまい、自分にとってもオーバーペースで息切れしているのに、それでも早すぎるということに気付かなかった。先頭で歩くのって大変なんだなあ実感した。

この日は快晴で景色も良く、富士山がきれいに見えた。正午前に山頂に到着。予想通り大変な混雑ぶりで、なんとか場所を確保して昼食。須田さんがお汁粉を作って下さり、身体も温まった。ごちそうさまでした。1時



間ほど休憩してから下山開始。下りはほとんど渋滞しており、景色を眺めつつ、のんびり歩いた。紅葉にはまだ少し早かったが、それでもきれいな景色が見られるのは山の何よりの楽しみだ。15時過ぎに下社に到着。もちろんここでも混んでいて女子トイレは30分待ちで、ケーブルカーも大行列だった。

下社からケーブルカー駅までは男坂を通った。初めての男坂で、想像以上に急だったので慎重に慎重に下った。帰りに寄った豆腐屋の店員によると、この日は何の装備もなしに山に登る人が多く、男坂でも滑落の事故があったそうで、自分が通ってきた道で事故があったのだと思うと恐ろしさにゾットした。ケーブルカー駅まで到着し、お土産を物色しつつ伊勢原駅行のバス停に向かうと、この日一番のものすごい大行列だったが、須田さんがタクシーを呼んで下さり、無事に伊勢原駅にたどり着くことができた。

とにかく混んでいた！という印象の山行だったが、それでもワイワイお喋りしながら歩くのはとても楽しく、リフレッシュできた。しばらく会の山行には参加できなくなるので、素敵な思い出が出来てよかった。ありがとうございました！

CT：秦野駅バス停集合 8：30→ 秦野駅発（バス） 9：25→ヤビツ峠着 10：15→ヤビツ峠発 10：25→大山山頂着 11：50（昼休憩）→山頂発 13：10→見晴らし台着 14：30→下社着 15：15→ケーブルカー駅 16：15

（記：吉田）

